

# 江刺岩手LC旗中学生バレー 金ヶ崎男女が優勝

に輝いた。胆江地区の小学生で構成する選抜チームも出場し、女子の部で胆江小連チームが3位に入った。

大会には沿岸部からの招待チームを含む男女計24チームが出場(男子・胆江小連Aは2日目から参加)。予選リーグ、決勝トーナメントで優勝を争った。

男子は、2月の県中学校選抜大会を初制覇した金ヶ崎が安定した戦いぶり。決勝でも東水沢を2-0のストレートで退けた。

女子決勝の「金ヶ崎水沢南」は、フルセット

にもつれる接戦。第1セットは金ヶ崎が先取るも、水沢南が粘りのプレーで第2セットを奪うと勢いに乗って第3セットも大きくリード。一時は10点差まで開いたが、金ヶ崎

がここから猛追。高橋七瀬(2年)ら攻撃陣が踏ん張り、2-1で水沢南を振り切った。

精度の高いトスワークをみせた金ヶ崎のセッター柴田美沙(主将)は、「サーブカット、スパイクミスが連続で出てしまった」とゆるい

ボールの処理に苦しんだ第2セットの内容を

反省。それでも「点差を離されたけれども最後は全員が勝ちたいという気持ちでプレーすることができた」とチームワークでつかみ取った優勝に笑顔をのぞかせた。

来季のチーム目標は全中出場。「これからサーブカットやコンビネーションを強化して全国に行きたい」と力強く話した。

## 【男子】

◇決勝トーナメント

▽1回戦

金ヶ崎2-0水沢南

水沢2-0胆江小A

東水沢2-0和賀東

江刺1-0千厩大原

▽準決勝

金ヶ崎2-0水沢

東水沢2-0江刺1

▽決勝

金ヶ崎2-0東水沢

【女子】

◇決勝トーナメント

▽1回戦

金ヶ崎2-0吉浜

胆江小連2-0東水沢

水沢南2-0大船渡

水沢2-0前沢

▽準決勝

金ヶ崎2-0胆江小連

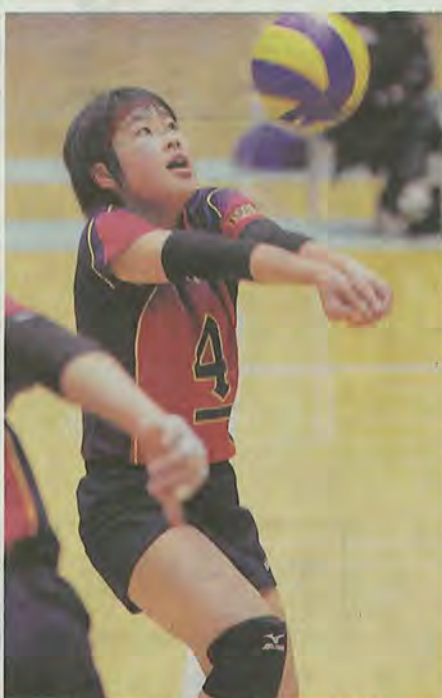
水沢南2-0水沢

▽決勝

金ヶ崎2-1水沢南

おことわり

「胆江拳闘史・王国岩手の輝き」は休みま



アンダーでトスを上げる  
金ヶ崎・柴田美沙(2年)



スパイクを放つ金ヶ崎・  
熊谷優(2年)